

4月の東北ブロック一斉宣伝 21㊥22㊥

東北6県811カ所で党の風を吹かせました。



訴えるいわぶち友参院議員=21日、福島市



訴える高橋ちづ子衆院議員、ふなやま由美宮城県選挙区
予定候補、県議ら=21日、仙台市



街頭で訴える紙智子参院議員 21日札幌市

4月21、22日の両日、「東北ブロック一斉宣伝」が東北6県で取り組まれました。6県合計で811カ所で「安倍政権は退陣、地方選、参院選勝利を」と党の風を吹かせました。各県の宣伝箇所数は青森県87カ所、秋田県60カ所、岩手県318カ所、宮城県62カ所、山形県37カ所、福島県247カ所でした。岩手県中部地区では千田美津子県議と奥州市議団を先頭に、21カ所で訴えました。2人組の女子高生から「共産党大好き」20代の青年からは「がんばって!」と声援が送られました。

安倍内閣退陣に追い込もう

高橋衆院議員・紙参院議員・
岩渕参院議員各地で訴え

高橋議員は仙台で、公文書改ざん隠へい、シビリアンコントロールの破壊、セクハラ問題など問題が相次ぐ国会情勢を「底なしの国会崩壊」と批判。「野党6党が力を合わせて退陣を迫っている」と強調。「安倍政権を退陣に追い込みましょう」と訴えました。

いわぶち議員は福島駅前で「6野党が結束し全国でも集会デモが続いている。市民と野党の共闘を広げ安倍内閣を退陣に追い込みましょう」と訴えました。

紙議員は札幌市で「国政私物化の安倍政権を国民の世論で退陣に追い込みましょう」と訴えました。

一つ一つの地方選挙を勝ち抜こう

- 4月15日投票の大崎市議選は、現有4議席を確保しました。
- 4月15日投票の能代市議選は定数2減の中、現有2議席を確保しました。
- 4月15日投票の仙北市議選は定数1減の中、現有1議席を確保しました。
- 4月15日投票の男鹿市議選は定数2減の中、現有2議席を確保しました。
- 4月15日投票の秋田県八峰町議選は空白を克服し1議席を確保しました。
- 4月22日投票のにかほ市議選は定数2減の中、現有1議席を確保しました。
- 4月22日投票の宮古市議選は定数6減の中、2議席を確保しました。
- 4月22日投票の気仙沼議選は現有1議席を確保しました。
- 4月22日投票の伊達市議選は定数4減の中現有2議席を確保しました。

告示

4月29日投票の八幡平市議選が22日告示され、定数2減の中、現職の米田さだお氏、高橋えつろう氏、新人の斎藤たかお氏が現有3議席確保をめざし第一声をあげました。

JCP Supporter

JCPサポーター制度ははじめました

中央委員会ホームページからどなたでも登録できます



日本共産党国会議員団
東北ブロックニュース

2018
4/25
2号

日本共産党国会議員団東北ブロック事務所
〒980-0021 仙台市青葉区中央4丁目3-2 8朝市ビル4階
電話 022-223-7572 FAX 022-264-2596
E-mail toblock@rose.ocn.ne.jp